

# 2022年 年次報告書

一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金

(2023年1月発行)



## 長期化するコロナウイルス感染症に加え、物価高騰による事業へのダメージがあるものの、基金としては事業の資金および事業運営支援は継続実施。

神石高原地域創造チャレンジ基金（通称 チャレンジ基金）は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業体の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大することに寄与することを目的に、事業資金支援、事業運営支援、その実績を発信することにより、地域のにぎわいの創出にも貢献する活動を2017年より継続して行なっています。

今年も支援先は増え、現在、支援先は10事業。合計9,840万円事業資金支援を行っており、自然豊かな神石高原町ならではの神石牛関連牛舎の拡大や古民家ゲストハウス事業、ジビエペットフード事業など多岐にわたります。

本年次報告書で、支援先事業についてご報告をさせていただきますが、支援先の皆様は、コロナ禍において、柔軟に事業計画を見直し、着実に事業を進められておられます。中ちゃん農園は、悪天候やコロナによる売上減少等もありましたが、当初想定より1年早めに償還していただき、初の支援分資金を完済いただいた支援先となりました。

また基金も設立5年をこえ、おかげさまで支援先数が拡大してきたこともありまして、現在（2022年2月時点）までの支援による効果をいくつかの切り口でまとめてみましたので、本報告書にて効果を定量的にご共有いたします。今後も継続して確認してまいります。

私たちは、今後も継続して支援先事業者のみなさんとともに、活動を続けてまいります。また、事業遂行の苦労を乗り越えた経験とノウハウは、広く地域創生を目指す全国の仲間たちにも情報を共有し、地域創生のプラットフォームとなるべく尽力してまいります。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほどどうかよろしくお願いいたします。

一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金  
(通称 チャレンジ基金)  
代表理事 上山実



# 支援先事業の状況報告

合同会社 中ちゃん農園：農産物の生産加工

## 【概要】

代表者：細川 中一

資金支援額：200万円

支援決定：2017年1回

資金活用：加工設備の拡充

本年度全額  
ご償還完了



＜加工施設内部と生産した農作物で作った加工品＞

## 【現況報告・代表メッセージ】

毎年 1 アイテムの加工品を追加し、昨年末より、「唐辛子のオリーブオイル漬」を追加しました。チャレンジ基金は本年度完済し、肩の荷が下りた感じです。

本年の生産農産物もほぼ収穫が完了しました。

- 1、米は93袋の出荷が終わりました。
- 2、椎茸は約2000パックを出荷し、単価250円です。
- 3、今年、意外に良く売れたのが「バターナッツかぼちゃ」です。
- 4、夏野菜 特にナスは夏場の価格下落で苦労しました。
- 5、これから販売していくのが さつまいも「紅はるか」です。  
収穫量は約400kg収穫し、現在熟成中です。

- 6、にんにくは5月～6月にかけて収穫し、4kg×30瓶漬け込み  
ニンニクのオリーブオイル漬として 12月現在10瓶販売しました。

本年の大きな事業は「中ちゃん農園」ホームページを作成したことです。

ホームページアドレス：<https://chuchan-farm.com/>

加工品にはそれぞれカテゴリー別に「QRコード」を貼り付け出荷しています。

今後、ホームページを充実しつつ、頑張っまいります。

写真等についてはホームページより利用してください。

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社ヴィレッジホーム光末：農畜産物の生産販売

### 【概要】

代表者：光末 幸司

支援決定：2017年1回

資金支援額：2000万円

資金活用：神石牛関連牛舎の拡大

ホームページ：<https://vhm.jp/>



<肥育牛舎内部の様子>

### 【現況報告】

農畜産物の製造販売を手掛けられる中で、人気があるものの数がすくなくなってきた、貴重なブランド牛「神石牛」の繁殖から肥育までの一貫の事業を遂行されることを目的にされ、2019年3月に新築牛舎稼働、12月にも子牛牛舎が完成し稼働開始されました。

引き続き米価・牛の相場はやや下降気味です。また牛の飼料がウクライナ危機もあり以前の倍近くに上昇天井がみえず厳しい状況が続きます。一方、神石出身の方から肥育事業における肥育の業務委託的な受注を開始し、キャッシュフローが安定したとのことでした。今後継続的に業務展開予定です。

### 【代表からのメッセージ】

今年度8月末より当初予定しておりました肥育事業を開始いたしました。神石血統と雌牛にこだわり育てていきます。通常の肥育素牛の導入方法もありますが、当社で生産された雌牛を基本として飼養していきます。2024年5月からの出荷をみこんでいます。

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社フェアトラベルジャパン：古民家活用ゲストハウス運営

### 【概要】

代表者：高 斗煥（ゴ ドウファン）

支援決定：2018年1回

資金支援額：1,000万円

資金活用：古民家のゲストハウスへの改修



<テントサウナと「元就」撮影の様子>

## 【現況報告】

今年もコロナの影響もあり、感染リスクを最小限にするため、少人数の貸切のみで宿泊者を受け入れておりますが、少しずつ海外旅行ができるようになり、韓国の旅行会社である、フェアトラベル코리아と提携し、韓国江原道楊口郡の公務員もゲストハウスに滞在しながら神石高原町役場や神石高原町観光協会などを訪問しました。2022年11月には韓国からの訪問者数が累計100名となり、収入は総120万円ほどになりました。県や国で実施する宿泊施設支援策の使用も含め、利用者数を増やす努力しています。また、豊松協働支援センターのご紹介で9月にはRCC放送局の番組「元就」に出演し、ゲストハウスの認知度が上がり、町民の方々からの応援の声や、宿泊のお問い合わせなどが増えています。追加で町民1名を雇用し、施設を管理するようになら、訪問客が地域の皆さんと触れる機会をふやしていくようにしています。そして、神石高原町観光協会からご協力を頂き「日本の宝物グランプリ広島大会」でグランプリ1位を受賞したテントサウナをゲストハウスに設置し、宿泊客から好評を頂きました。今後、神石高原町がウクライナ難民を応援していることに賛同する意味で、神石高原町に住みたい、と思う難民がいらっやった際にはいつでも気軽に休める場所も作りたいと思っております。

## 【代表からのメッセージ】

これからは世界的に海外旅行も回復して行き、旅行者も一緒に増えてくるのではないかと期待しています。今後は星を見ながらテントサウナをする、など神石高原町の自然を味わいながら、ここでしか体験できない魅力をお伝えする様々なプログラムを企画する予定です。引き続きよろしくお願いたします！

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社ナオリ神石高原：「浄酎」の製造販売

### 【概要】

代表者：三宅 紘一郎

支援決定：2018年2回

資金支援額：300万円

資金活用：クラウドファンディング製造販売関連

ホームページ：<https://naorai.co/>



<新しい商品ラインアップ>

### 【現況報告】

浄酎のシリーズ商品300mlを開発しました。クラウドファンディングを実施し、無事に目標達成をし、広く皆さんに知っていただくことができました。

<https://www.makuake.com/project/naorai01/>

また、この企画は、日経新聞やプレジデントオンラインなど様々なメディアに取り上げていただきました。

<https://naorai.co/news/23486/>

### 【代表からのメッセージ】

浄酎の生産時に生まれる副産物を活用したFOOD TECH 事業も同時に進めており、ピッチ大会でご評価を頂けております。神石高原町のタナベ・マリモファーム様のお米の仕入れ量を増やしていき、生態系豊かな地域作りに貢献したいです。

ご参考：

<https://naorai.co/news/23525/>



<神石蔵内部の様子> 5

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社ダストマンズ：動画および動画教育コンテンツの作成

### 【概要】

代表者：村上 勇太

支援決定：2019年2回

資金支援額：500万円

資金活用：油木高校クラブ継続支援のためのコンテンツ拡充

ホームページ：

<https://www.youtube.com/channel/UCMyJ5odq13TMrW-sNqC0ZJQ>

### 【現況報告】

新規のAR事業も11月上旬にリリースを控え今はプロモーション活動に専念して活動中。今年からは、油木高校生からの映像志願者はゼロのため、地域外の若い子を育成しています。来年以降希望者が現れた時に備え、コンテンツや人員の備えをしています。

### 【代表からのメッセージ】

今年も引き続きCM等の映像制作をメインに行いました。

国内最大手の電子部品メーカーTDK様の世界に向けた新技術発表用の映像を担当したり個人的には躍進の年になったかなと思います。

またメタバース需要に向けたARコンテンツ制作も行っております。



# 支援先事業の状況報告

## 株式会社ヤマテツRising：水回り関連インフラ・井戸掘削工事

### 【概要】

代表者：山本 哲也

支援決定：2019年1回

資金支援額：1,000万円

資金活用：事業スタート関連費用



<水道工事の様子>

### 【現況報告】

3月末に会社ホームページが完成したので、ブログの更新を始めています。少しずつ、検索にもかかり始めていて10月末に、福山市神辺町より井戸ボーリング工事の新規問い合わせが入るようになりました。

また、ホームページの完成と併せて、既存顧客様にDMを発送しました。DMの内容とホームページの内容はリンクしており、地域の身近な水道工事店としてのイメージ作りを図るよう、インターネットでも書面でも今後も発信していく予定です。

### 【代表からのメッセージ】

コロナ関連の影響があり、現在でも商品の入荷に遅れが出ている事で、緊急の対応には苦戦しています。生活するのが困難な事にならないよう、仮設で器具などを取り付けてギリギリの対応をしている状況です。しかし、正規の商品を取り付けなければ売り上げにつながらないので、全体の動きとしてはやはり鈍いと感じます。たまたま、公共水道の工事をさせて頂いているので、やりくり出来ている状態です。

ボーリング工事の方は、2件工事をさせて頂いたので、今後も継続して情報を発信する事で、皆様の目に止めて頂けるよう努めていきます。

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社DroneScenery：ドローンスクールの運営

### 【概要】

代表者：宮池研吉                      支援決定：2019年2回  
資金支援額：240万円                資金活用：ドローンスクール開業関連  
ホームページ：<https://www.dronescenery.co.jp/>



〈大型ドローンと飛行の様子〉

## 【現況報告と代表からのメッセージ】

これまでのドローンスクール事業を国家資格の取得出来るスクールへ移行すること、来年以降、庄原の長岡商事(株)様が開校する大型ドローンスクールの講師として活動して参ります。

その準備として、今年は栃木に1週間ほど滞在し、大型ドローンの組立て、システムの使い方などの研修を致しました。来年、日本初のガスタービンエンジンを利用したドローンを開発されるので、一緒になって事業を広げていきたいと思ひます。



# 支援先事業の状況報告

## 株式会社アールティー：よもぎ茶の製造販売

### 【概要】

代表者：赤木剛志

支援決定：2021年2回

資金支援額：400万円

資金活用：よもぎ茶の製造販売関連

ホームページ：<https://lif-exp.com/detail?sid=3570>



＜加工施設内部とよもぎ茶の販売光景＞

## 【現況報告と代表からのメッセージ】

今年は、販路拡大に向けた取り組みを行なっています。

今後は、ECサイトを構築しネット販売の強化と商業施設との大型取引など販路の急拡大を目指すとともに、エステサロンやよもぎ蒸しサロンなどの既存のお客様の囲い込みとリピート率の強化をしていきます。



# 支援先事業の状況報告

## 神石高原グリーン電力株式会社：小規模水力発電の民間による売電事業

### 【概要】

代表者：岸川 剛 支援決定：2022年1回

資金支援額：2,700万円 資金活用：小規模水力発電の民間による売電事業



<新しい水車発電設備>



<2022年10月19日のRCC（中国放送）の「イマなま」の現地取材時>

## 【現況報告】

2021年に8月に弊社神石高原グリーン電力（株）を設立し、豊松発電所（水力発電所、発電出力49.9kW）の2023年3月の再稼働を目指し、発電所開設の準備を進めています。2022年に、経済産業省の固定価格買取制度（FIT）の下、発電事業計画を策定し、FIT事業認定を取得しました。また、FIT認定取得に伴い、水車・発電機、土木施設の設備更新工事に着手し、現在、工事中です。

## 【代表からのメッセージ】

まずは、計画通りに2023年3月の稼働を目指します。豊松発電所（旧：仁吾川発電所）は、昭和2年に稼働開始し、当時、旧豊松村に電気文明をもたらした歴史的にも重要な遺産となります。

また、発電所のすぐ横には、「魚切り溪谷の滝」と呼ばれる四季折々に美しい姿を見せる滝があり、この自然豊かな景勝地とともに豊松の歴史の1つを担う発電所が、昨今の脱炭素社会が問われる世の中で、この神石高原町で実現できる持続可能な取り組みの1つとして、延いては、今後の教育の場や観光資源の1つとしての役割を担えるような地域一体型の発電所を目指していきます。

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社BINGO：ジビエ肉を活用したペットフード事業

### 【概要】

代表者：前田 諭志

支援決定：2022年2回

資金支援額：1,500万円

資金活用：ジビエ肉を活用したペットフード事業関連

ホームページ：<https://bingogibier.com/>



＜建設中の加工施設と商品イメージ＞



## 【現況報告】

神石高原町施設の開業に向けて、新市施設でも神石高原町の猟師さんから多数ご連絡いただいております。開業前ですがすでに取り引きを開始しています。

また、神石高原町での地元住民説明会や、狩猟者向けの説明会に参加させていただきご理解いただけたと思っております。

引き続き、開業に向けて最終の搬入スキームの説明などを行う予定にしています。

## 【代表からのメッセージ】

今年度の予想処理頭数は新市施設だけで700頭強を予想しています。（過去最多）神石施設での目標処理頭数は1000頭を予定していますので、来年度は両施設合計で1500頭以上を目標にしています。猪だけで1500頭となると処理頭数日本一となるためそこを目標にスタッフ一同日々チャレンジしていきます。

また、1500頭のうち美味しい個体だけ40%を食肉に回す予定にしており、ハズレの無いジビエ（猪肉）として販売していく予定になっております。こちらも神石高原町の新しい特産品としてブランド化を図れればと考えています。

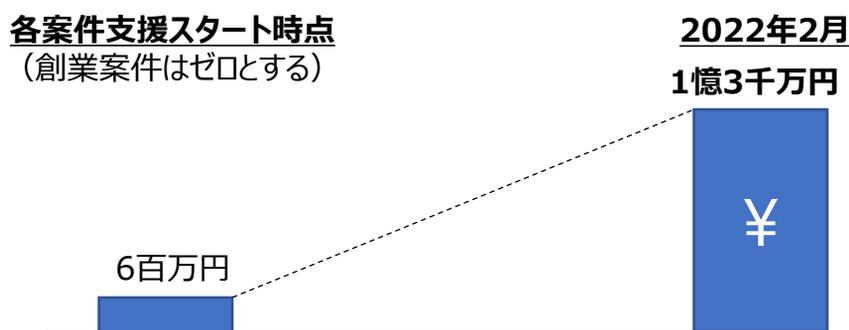
# チャレンジ基金の支援の効果について

## 現在までのチャレンジ基金支援の効果まとめ

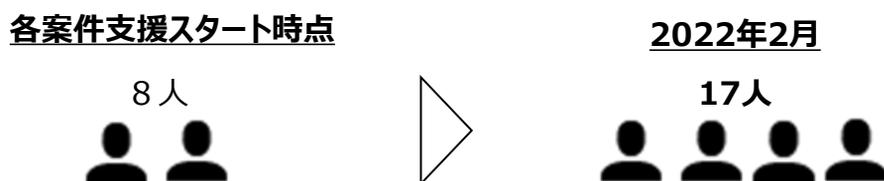
2017年の基金運営の開始からこれまでのおかげさまで多くの支援を実行することができました。そこで支援先のみなさまに対しての一定の支援の効果が計れるタイミングとなったものと判断しまして、支援先合算の数値になりますが、4つの切り口での効果をご公表させていただきます。

### 【これまでの支援効果（時点2022年2月、2021年度までの投資先8件合計）】

#### <売上高の拡大（2021年度までの支援先8件合計）>



#### <雇用の維持と拡大（同上合計。正規雇用、パートアルバイト合計）>



#### <支援以降、支援先が金融機関の借入や、助成金等をいただいた金額合計>

**1億985万円**

⇒ 基金が一定のリスクを負担する形で、タグボートの支援役割をはたし、多くの金融機関や事業者さまから直接の追加での金融的支援をいただけたものと考えております。

#### <支援以降、支援先がメディアに掲載された回数の合計>

**11回**

⇒ 支援先のみなさまがメディアに取り上げていただくことにより、「挑戦のまち」神石高原町の宣伝に大きく役立っているものと考えております。

また、チャレンジ基金の説明会、個別相談会には、22年3月までで累計**62**件ご参加いただき、審査のお申込み自体も、累計**30**件に達してございまして、神石高原町における、「起業や新規事業の拡大」の機運の醸成には微力ながら役立っているものと考えております。

皆様のご支援、各支援先のご努力、追加支援の輪の拡大の循環で、現在まで上記のような効果が表れてきております。引き続きご支援のほど、よろしく願いいたします。

# チャレンジ基金について

## ○新しいビジネスチャレンジをサポート



チャレンジ基金は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業者の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大に寄与することを目的に2017年設立。神石高原地域で新しいビジネスチャレンジを行う事業者に対して、資金的な資源提供を行うと同時に、伴走型支援と呼ぶ経営指導を一緒に実施していくことで、事業者の経営を安定化させると共に、自律的な運営を促すことで、新規事業者の参入を容易にしていこうを目指しています。少子高齢化と人口減少が進行した神石高原町であるからこそ、次代を担う人材の新しいチャレンジを応援することで新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋げていく活動を進めます。

### 【住所】

広島県神石郡神石高原町小畠 2 0 2 5 番地(神石高原町役場内)

### 【ホームページ】

<http://jinseki-kikin.jp/>

### 【公式facebookページ】

<https://www.facebook.com/jinsekikikin>